

一日の見通しをもつ朝の会と明日への希望をもつ帰りの会

朝の会と帰りの会は、学級経営において大切な時間です。単なる連絡事項を確認する時間ではなく、一日の見通しをもち、一日を振り返り明日への希望をもたせる時間にしましょう。

朝の会と帰りの会は、学級担任とクラスの生徒との信頼関係を築く大切な場です。朝の会は子ども達にやる気を起こさせる大切な場だし、帰りの会は注意・連絡するだけの場ではなく、一日のまとめをし、生活の良かったところを評価しつつ、明日からの課題を子ども達につかませる場でもあります。朝の会で「何を話すか」を考え、教室で子ども達と向かい合ってみましょう。特に若い先生は「朝の会・帰りの会」を充実させるための努力をすることで、必ず良い学級づくりのコツを学ぶことができますと思います。

私の息子も初任の時、校長先生から「月曜日と水曜日、そして金曜日の話す内容が同じはダメ」と言われ、毎日何を話すか悩みながら教室へ向かったそうです。校長先生が毎日、朝の会の話しを聞きに来たそうです。そのおかげか、その経験が今の自分の学級経営に活かされていると言っていたような・・・とにかく、二学期がスタートした今だからこそ、少し意識してくれたら幸いです。

先生の話大切に！

■朝の会では職朝での確認事項や安全に関わる情報等を伝えます。それに加えて「新聞のニュース」「昨日見つけた素晴らしい姿」といった具体的な話題を話してみることも大切です。また、朝の会での生徒の温かい言動を学級に広げたりすることも大切です。教師の話では、前日の生活の中から、学級や班、個人の良かった行動や頑張った事を取り出し、まず2つほめる。そして後で、克服すべき課題を一つ話す。「2つほめ、一つ課題を与える」のもいいと思います。朝の会が注意、叱責をするだけの場にならないようにしていきましょう。私たちは、ほめることに関して具体性や感動がなく、形式的にならないようにする必要があります。私たち自身が感動したことを素直に伝えていくことです。

■帰りの会での話しは、学級目標や今日の目標に照らしながら、一日の成果を価値づけ、課題を明らかにして、これからの方向づけを行うことが大切です。事実とともに、その背景にある願いや思いに焦点を当てることが重要だと思います。できるだけ教師の話は短い方がいいですね。短くスカッと話しをしましょう。最も必要なことだけを評価したり、語ったりすることが大切です。帰りの会で班がお互いに相互評価をし、その質が高いものになればなるほど、学級は発展します。そんな充実した帰りの会を目指しましょう。朝の会が終わり、生徒がやる気を持って一時間目の授業に向かう、帰りの会が終わり「明日も学校に来たい」という気持ちで帰る。そんな時間にしていきたいです。

学校訪問 お疲れさまでした

課題もたくさんあります。先生方と力を合わせて、知恵を出し合いながら取り組んでいきたいです。

先生方には学校訪問に向け、指導案準備等を含め協力していただきありがとうございました。北筑後教育事務所、教育委員会、教育センターの方々も生徒の姿と先生達の頑張りをたくさん誉めて帰られました。浮羽中が良いスパイラルで回っていると実感できるとも言っていただきました。これも先生方の方々の努力のおかげです。ありがとうございます。教育長からは、先生方が頑張っているからこそ、管理職として働き方改革を進めること、職員の不祥事が起きないように気を配ること、ベテランの先生方はもちろん若い先生方も一緒になって頑張っているのを人材育成に努めることを言われました。これからも先生方の声に耳を傾けて学校運営に努めていきたいです。いろんな先生方からご意見をいただきましたが、一番嬉しかったのは、**教育センターの高山先生が「授業に行く生徒が明るくあいさつしてくれる。授業でプールに行く生徒はもちろん、校舎内で会う生徒も全員。これだけで学校の良さが分かる。」**と言ってくれたことです。部活動での指導をはじめ、先生方の地道な指導に感謝します。